

当院で親知らずの 抜歯をすることができます

傾いている歯、半分埋まった歯、完全に埋まってる歯などほぼすべての親知らずを当院で抜歯することができます。

親知らずの抜歯をするのに優れた[ピエゾサージェリー、歯科用CT](#)を導入して使用しております。

親知らずを抜く時期（年齢）

12,3歳頃に歯胚（歯の芽）ができます。14歳前後には親知らずの悪影響が気づかぬうちにでてきます。

13歳以上になったら骨格や歯のバランスを見て、親知らずの抜歯をおこないます。

親知らずの萌出異常は様子を見ていても改善することはなく、知らず知らずの間に悪影響がでていきます。

理想的には親知らずの存在が確認された骨格や歯のバランスを見て抜歯することです。

歯並びの悪化、第二大臼歯の保護のためには症状が出る前に抜歯しましょう！